

世界が進むチカラになる。



グラフで見る東海経済 (2023年10月)

2023年10月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~持ち直している

【今月のポイント】

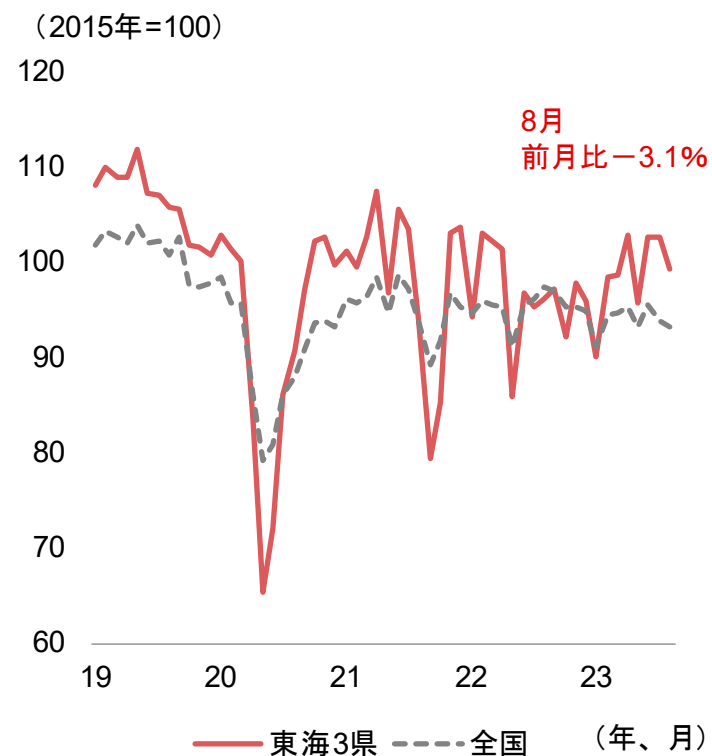
- 東海経済は、持ち直している。
- 8月の生産は、前月比で3カ月ぶりのマイナスとなったが、均してみると持ち直しの動きがみられる。
- 9月の名目輸出は前年比で20カ月連続のプラス。自動車の輸出数量も前年比で2桁増が続いている。8月の実質輸出は3カ月ぶりに前月比マイナスとなったが、均してみると持ち直している。
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きがみられる。

項目	現状
景気全般	持ち直している
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直している
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きが鈍化
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	例年並みの水準となっている

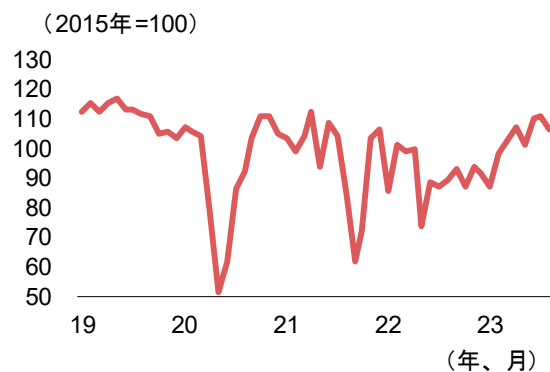
生産

8月の鉱工業生産(東海)は前月比-3.1%と3カ月ぶりのマイナスとなったが、均してみると持ち直しの動きがみられる。輸送機械、電子部品デバイス、業務用機械などが減少した。

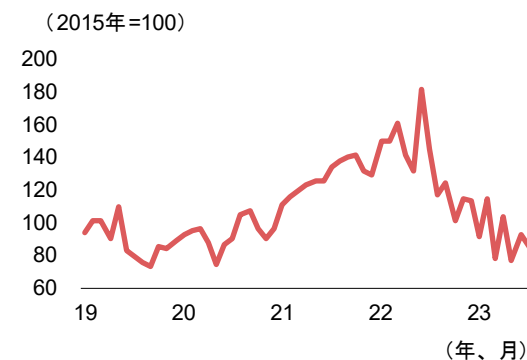
鉱工業生産指数



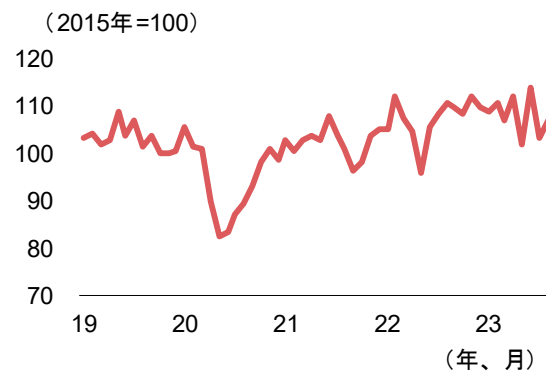
輸送機械



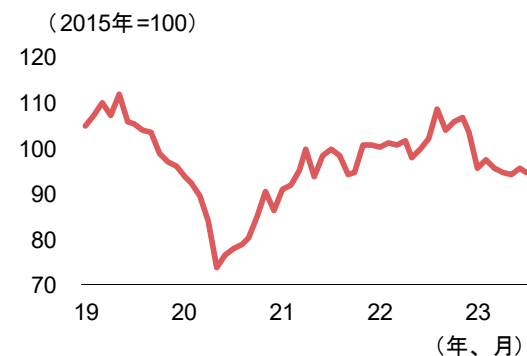
電子部品デバイス



電気機械



汎用・生産用・業務用機械



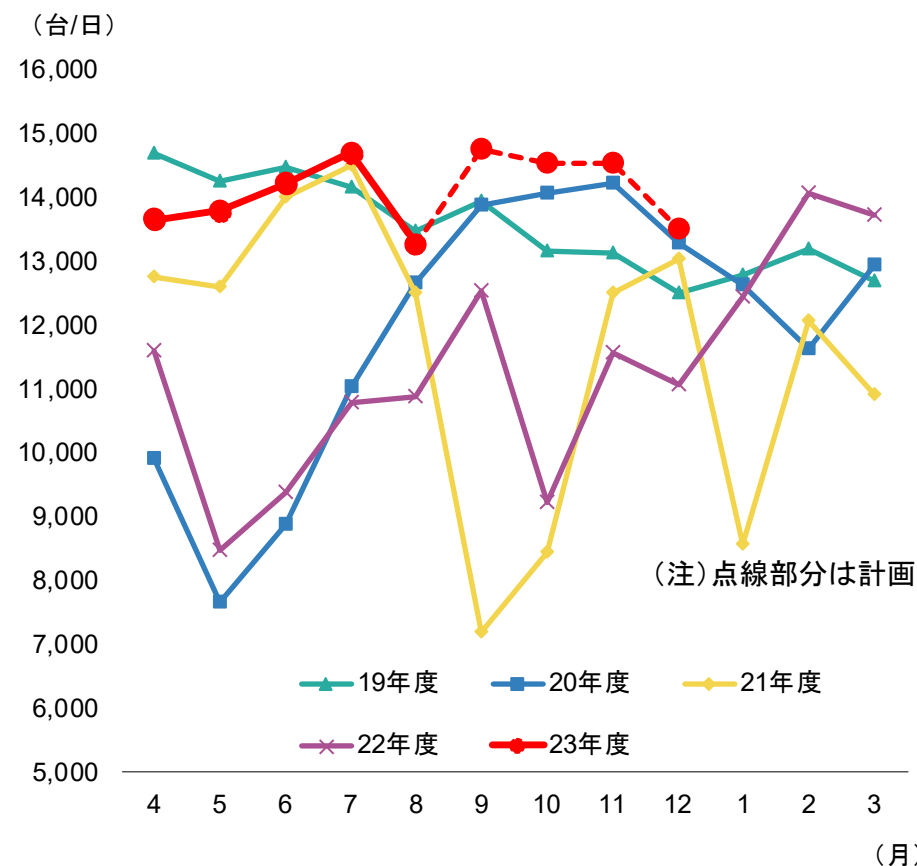
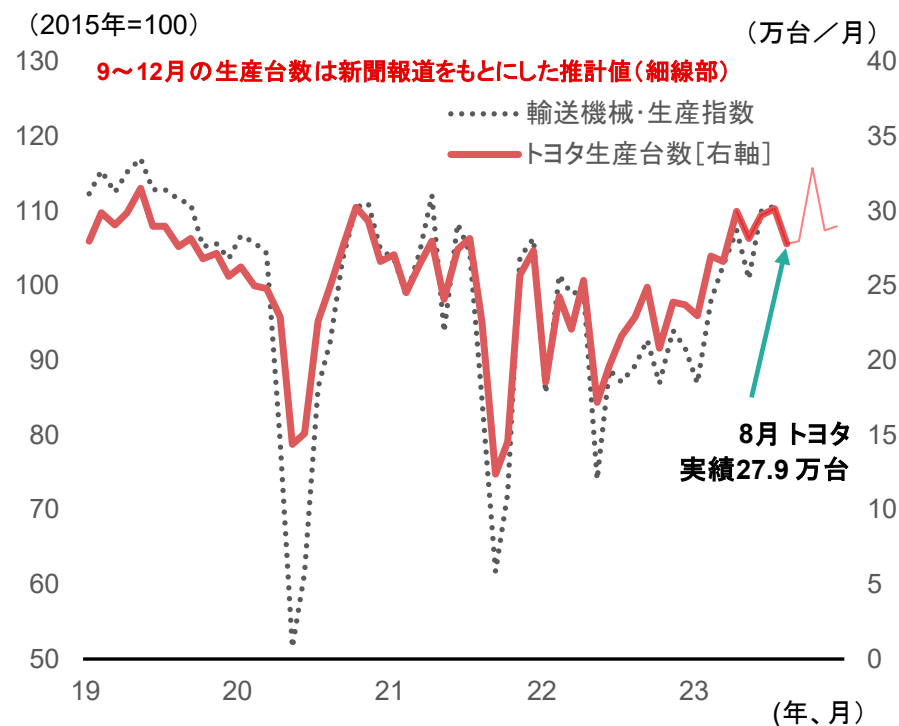
(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ国内生産）

8月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は27.9万台と前月から減少した。先行きは、車載半導体の安定調達には不確実性が残るものの持ち直し基調が続くと見込まれているが、10月は工場停止の影響で下振れとなる可能性がある。

トヨタ月次生産台数(季節調整値)

トヨタ日当たり生産台数(原数値)



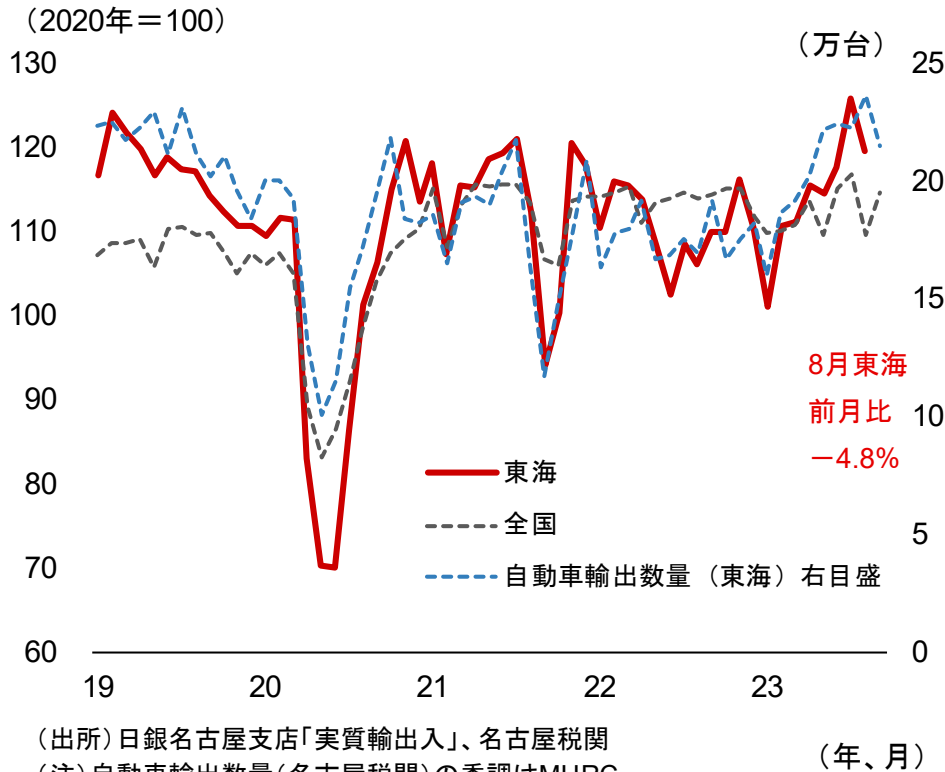
(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

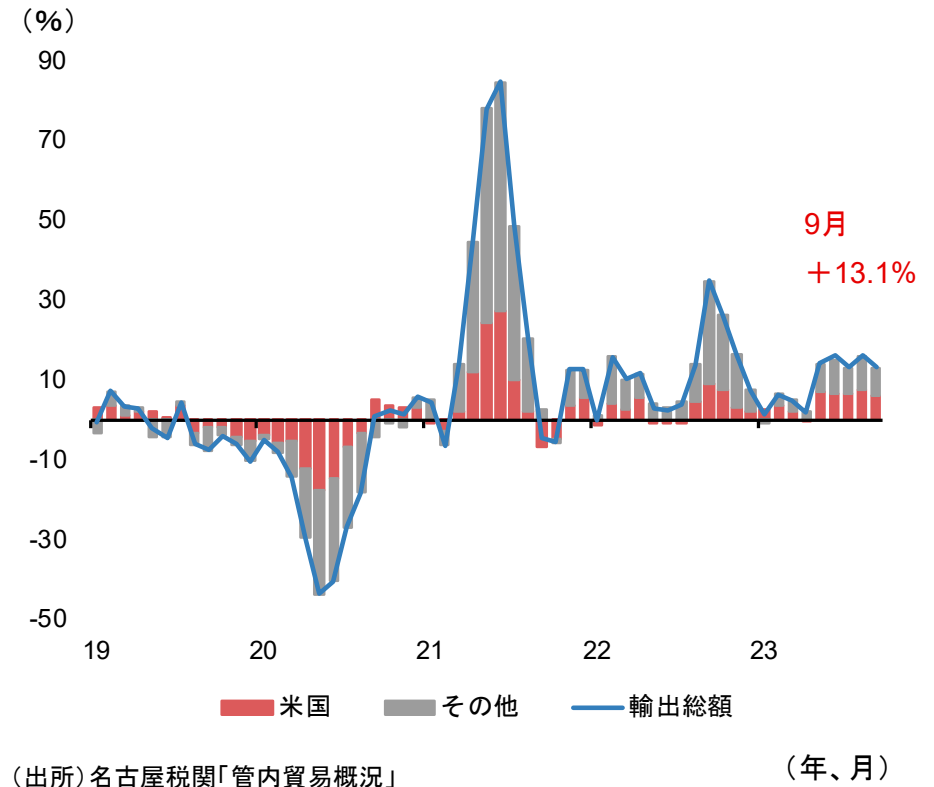
輸出

8月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比-4.8%と3ヵ月ぶりに低下したが改善トレンドが続いている。9月の名目輸出額は、前年比+13.1%と20ヵ月連続のプラスとなった。業種別では、自動車と同+27.7%(寄与度+8.6 %pt)と増加、数量ベースでも同+11.8%と増加した。地域別ではアジア向けが小幅ながら10ヵ月ぶりに増加、米国、EU、その他向けも増加した。

実質輸出指数(季節調整値)



名目輸出(前年比、寄与度)



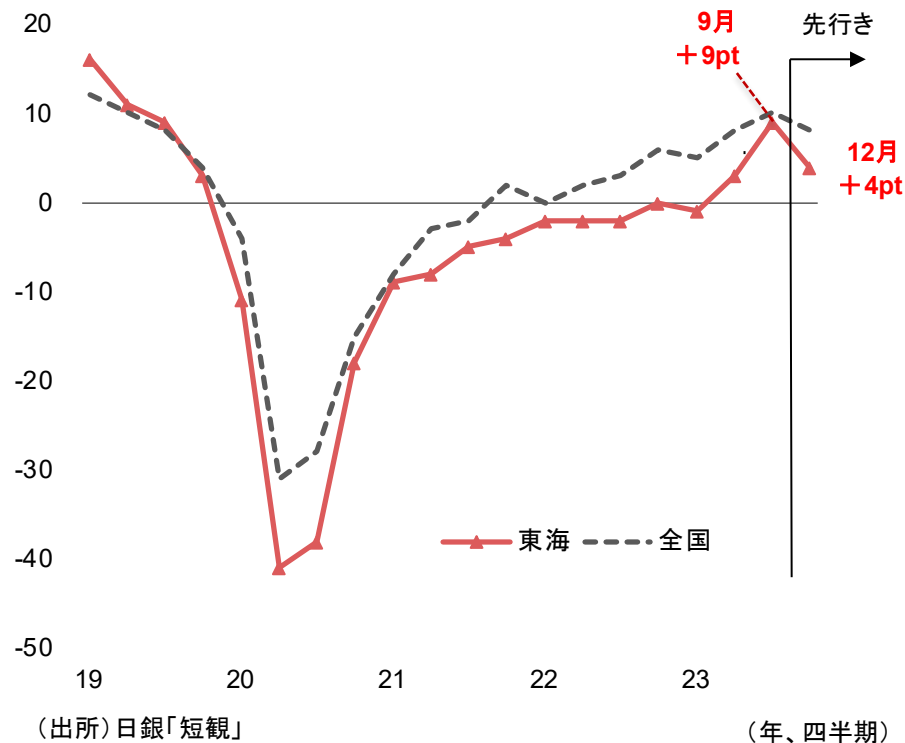
(出所) 日銀名古屋支店「実質輸出入」、名古屋税関
(注) 自動車輸出数量(名古屋税関)の季調はMURC

(出所) 名古屋税関「管内貿易概況」

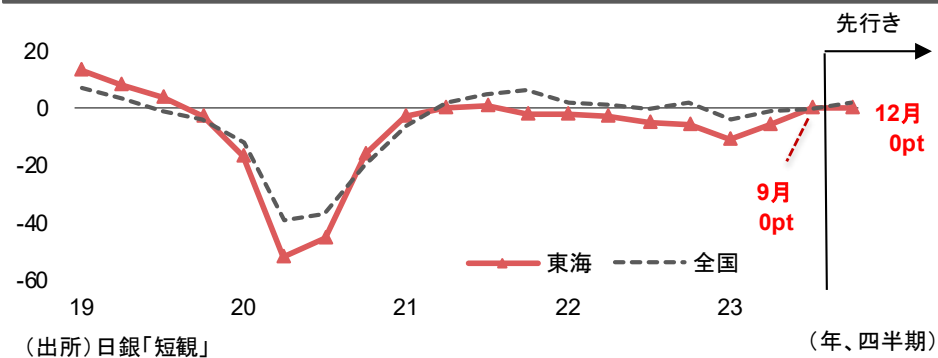
企業景況感(日銀短観)

日銀短観9月調査の業況判断DIは、全産業で+9ptと6月調査(+3pt)から改善した。製造業、非製造業ともに改善した。製造業では自動車が改善する一方、はん用機械が悪化した。非製造業では、対個人サービスが改善する一方、宿泊・飲食サービスが小幅悪化した。先行きについては、製造業で横ばい、非製造業で悪化を見込んでいる。

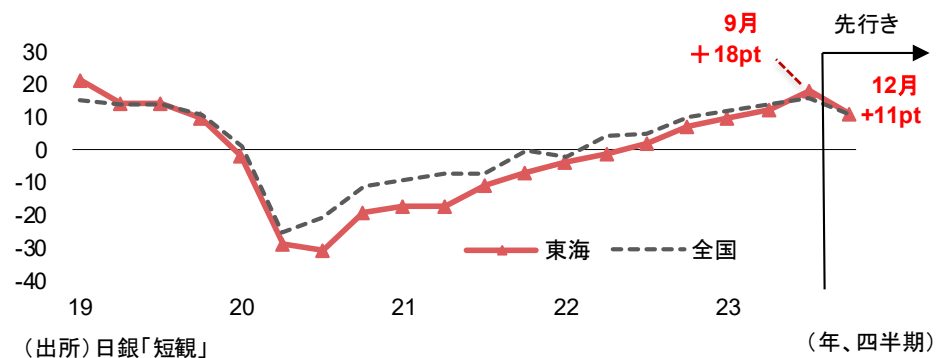
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



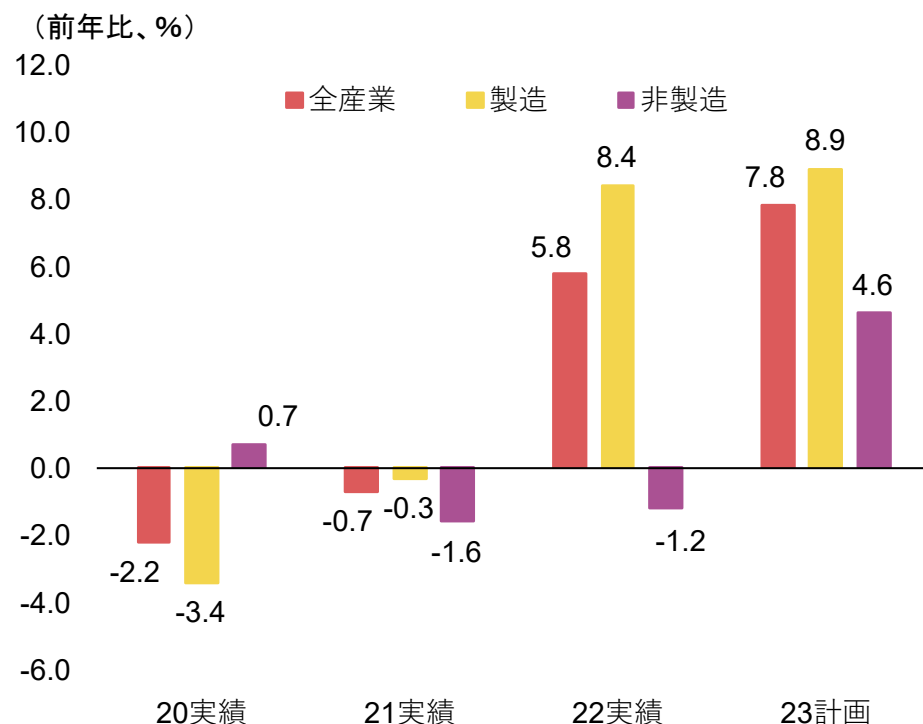
同 非製造業



設備投資(日銀短観)

日銀短観9月調査によると、23年度の設備投資計画は、全産業で+7.8%と前回調査から小幅下方修正。製造業で前年比+8.9%と上方修正、非製造業で同+4.6%と下方修正となった。

設備投資 実績・計画



設備投資額(前年比%)

	22年度実績	23年度計画		
		今回調査	(前回調査との差異)	前回調査
全産業	5.8	7.8	(-0.3)	8.1
製造業	8.4	8.9	(0.5)	8.4
非製造業	-1.2	4.6	(-2.5)	7.1

(出所) 日銀名古屋支店「短観」

(注) 含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

(年度)

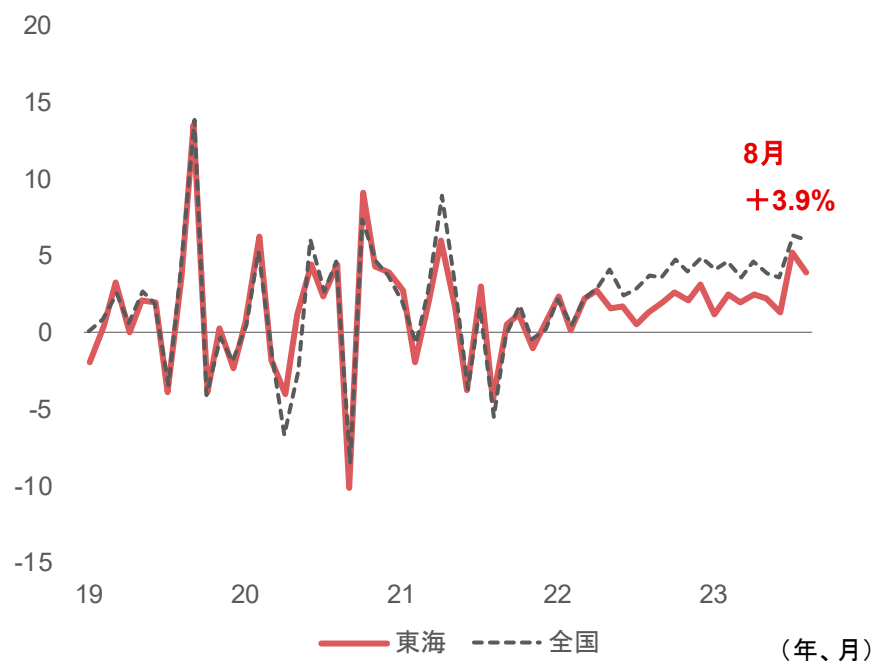
個人消費(小売売上、自動車販売)

8月の小売販売額は前年比+3.9%と21ヵ月連続でプラスとなった。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きが続くとみられる。

9月の新車販売は、前年比+14.2%と9ヵ月連続でプラスとなった。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

小売販売額(6業態計)

(前年比、%)

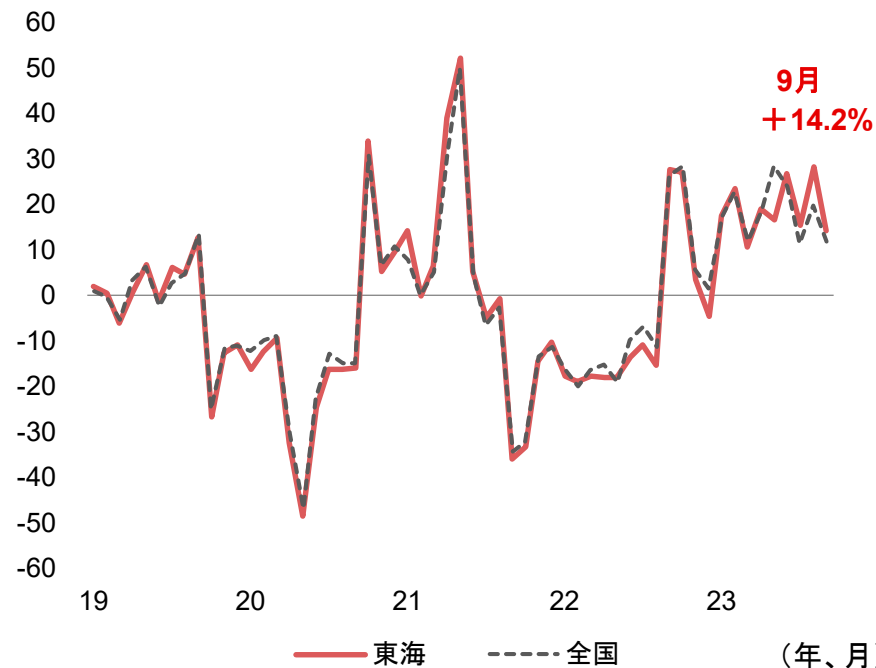


(出所)経済産業省「商業動態統計」

(注)百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



(出所)日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

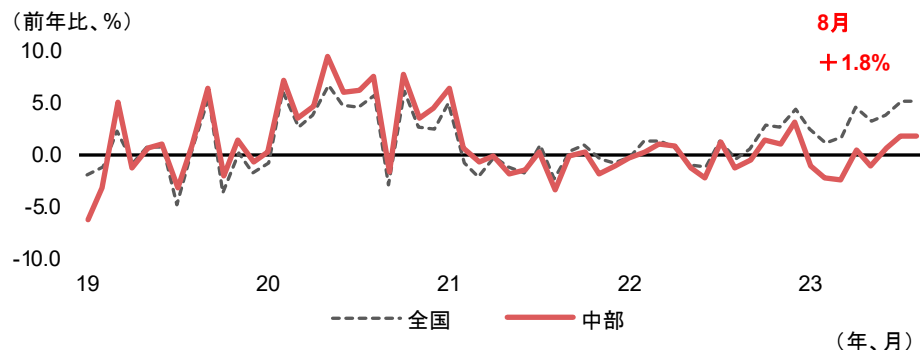
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

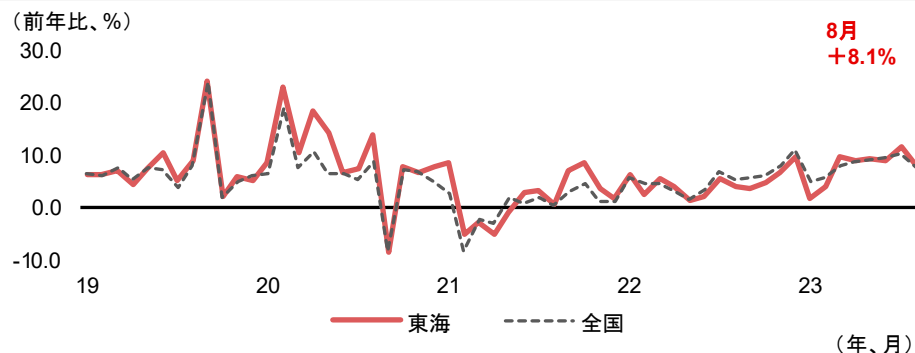
8月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)は前年比+1.8%と3カ月連続で増加した。

9月の百貨店売上(名古屋)は、外出機会やインバウンドの増加により前年比+13.7%と24カ月連続のプラスとなった。

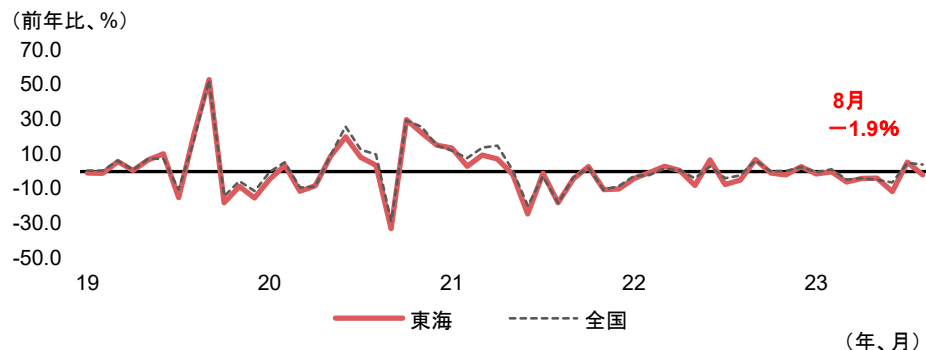
スーパー販売額



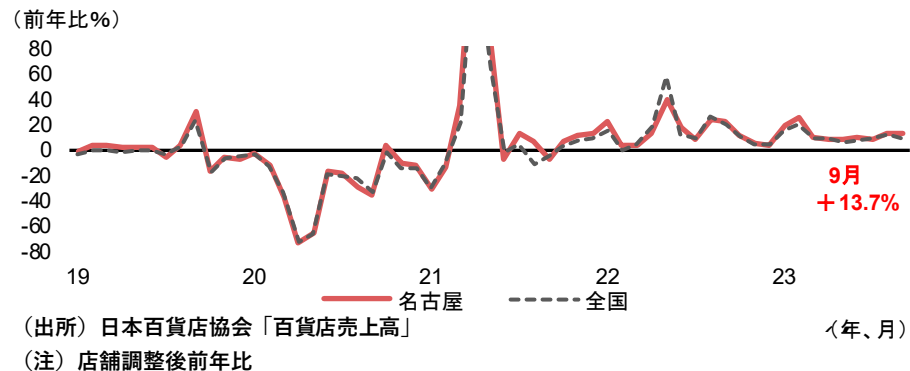
ドラッグストア販売額



家電大型販売店販売額



百貨店売上高

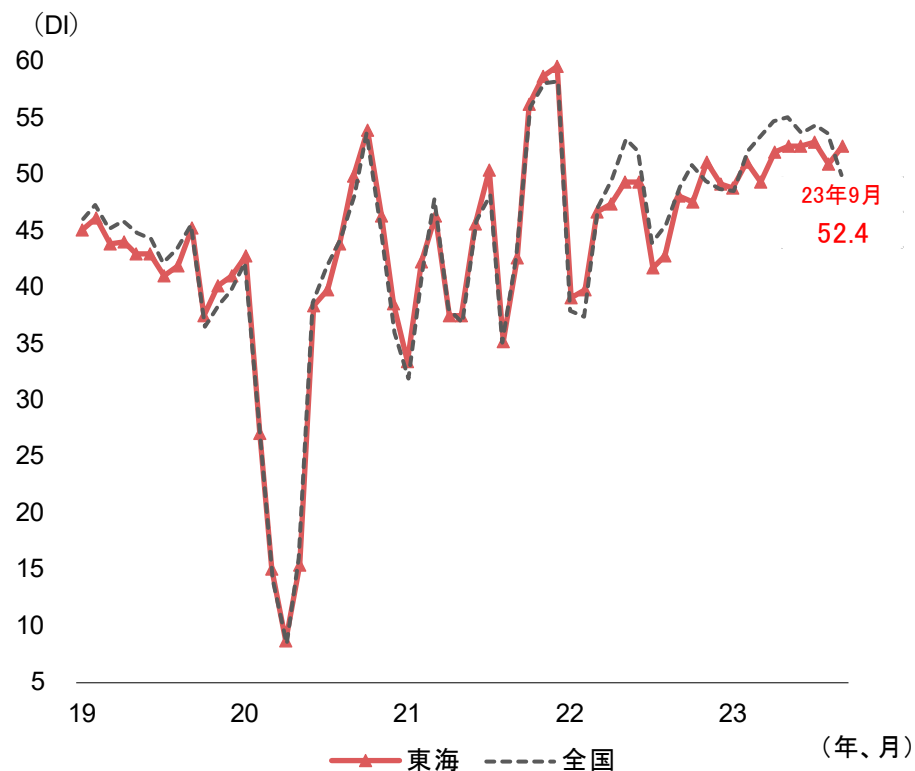


マインド・景況感

9月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+1.6ポイントの 52.4と2カ月ぶりに上昇し、横ばいを示す 50 を6カ月連続で上回った。物価上昇への懸念がみられる一方、インバウンドの増加がプラスに寄与した。

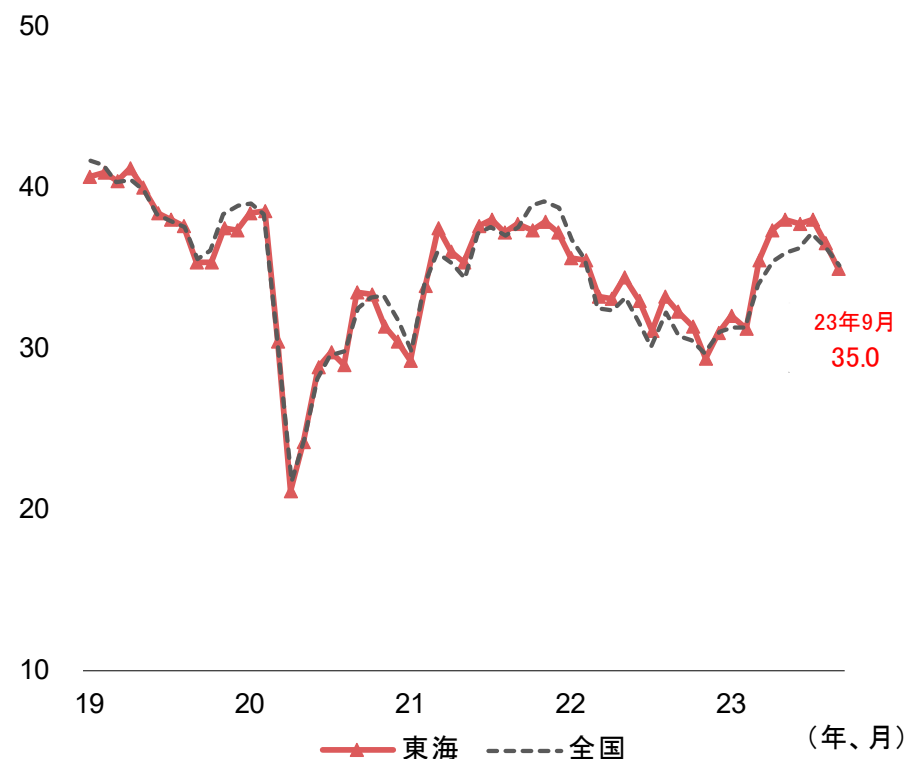
9月の消費者態度指数は2カ月連続で低下した。

景気ウォッチャー調査(現状判断)



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

消費者態度指数



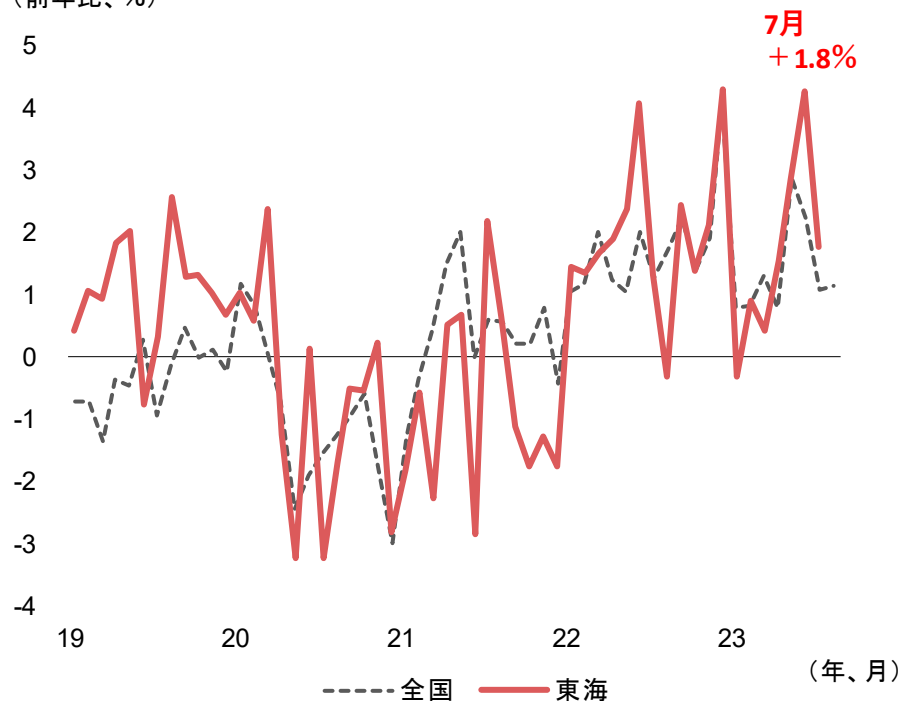
(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

7月の名目賃金は、前年比+1.8%と6カ月連続のプラスとなった。三重がマイナスとなったが愛知、岐阜が増加した。8月の有効求人倍率は1.38と小幅低下。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いている。23年4-6月期の失業率は2.1%と低下。就業者数は減少した。

名目賃金指数

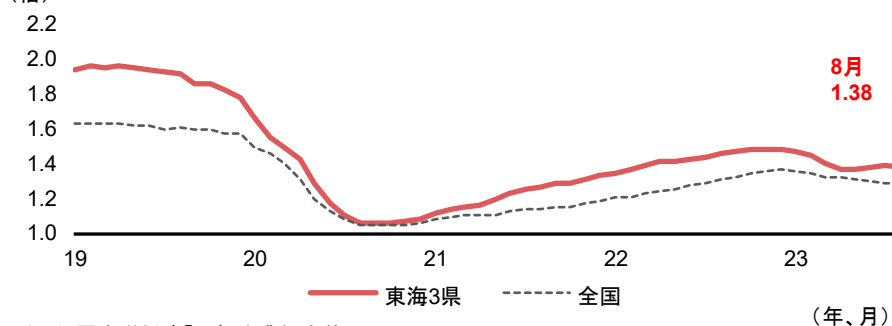
(前年比、%)



(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

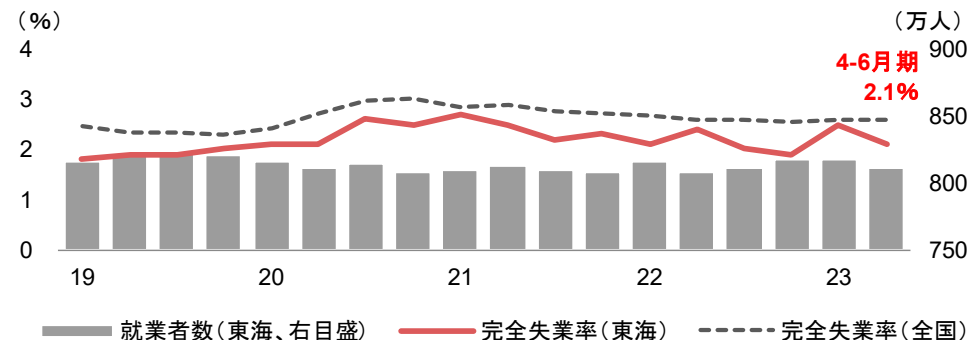
有効求人倍率(季節調整値)

(倍)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

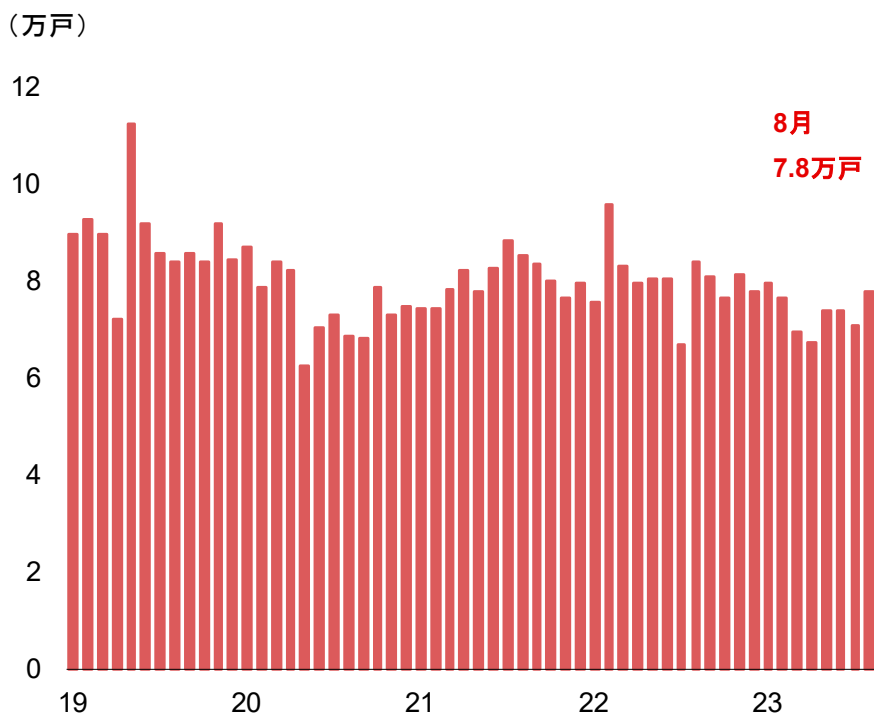


(出所) 総務省「労働力調査」

住宅投資

8月の住宅着工は季調・年率で7.8万戸と2ヵ月ぶりに増加。前年比では2ヵ月ぶりに前年を下回った（前年比-6.1%）。利用関係別では分譲マンションは増加したが、持家、貸家、分譲戸建が減少した。

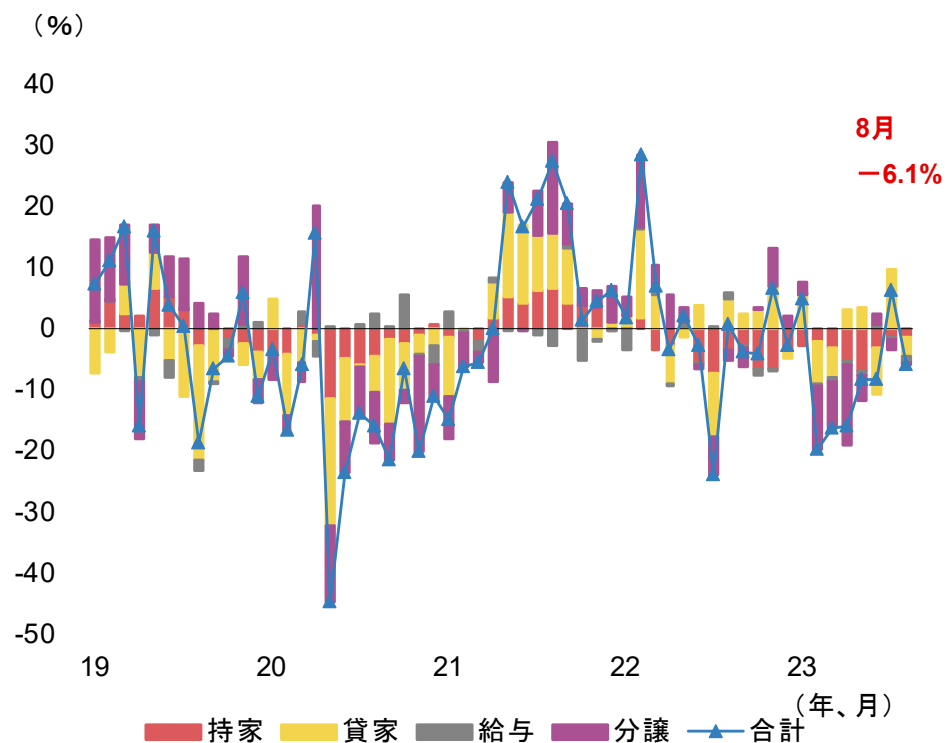
新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

(年、月)

新設住宅着工戸数(前年比)

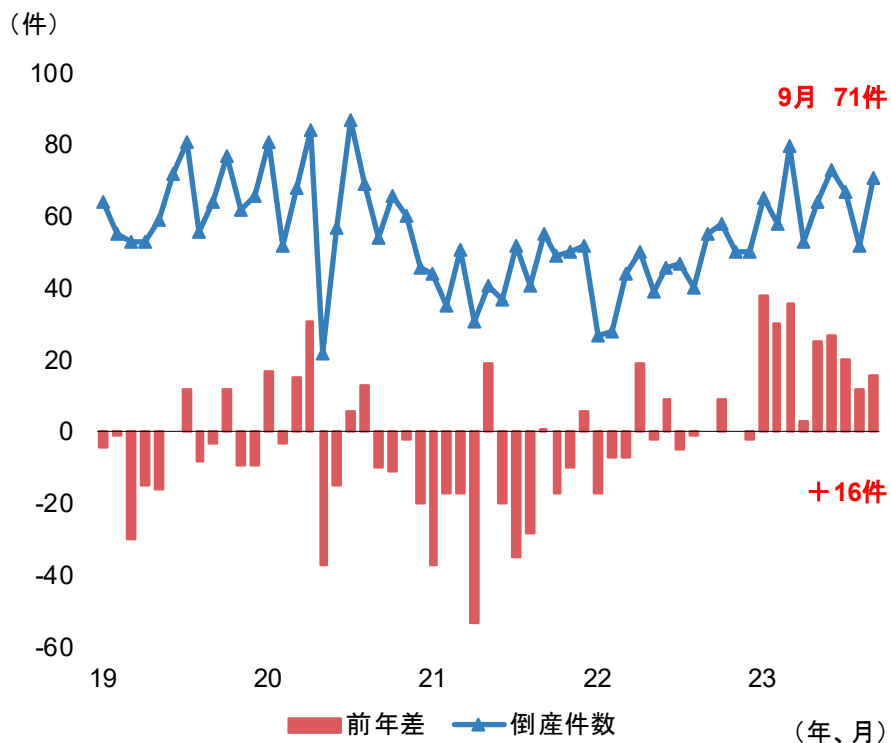


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

9月の倒産件数は前年差+16件の71件。コロナ前程度の水準となっている。

倒産件数

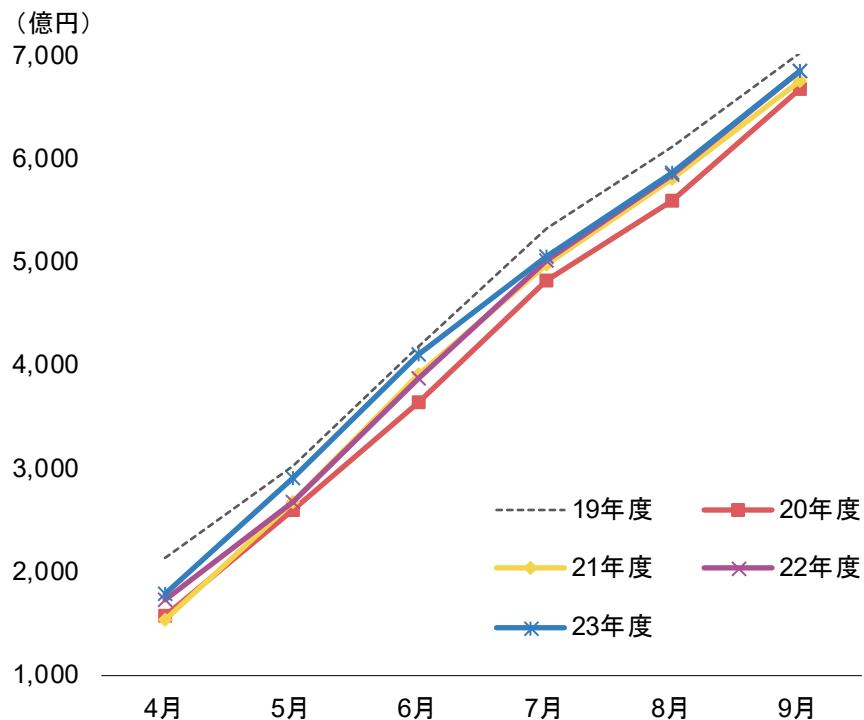


(出所)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

9月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年-0.2%の6,840億円と例年並みの水準となっている。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所)東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー